



2~4P 令和8年度 当初予算

6~7P 行政懇談会を開催しました

14~15P 木曾町内中学校 部活動の地域展開

16P photo report 「日義中学校 開田中学校 卒業式・閉校式」



木曾町
公式LINEは
こちら



インターネットからも
広報きそまちを
閲覧できます

\\ お知らせします \\



令和
8年度

当初予算

【お問い合わせ先】
企画財政課 ☎ 22-4287

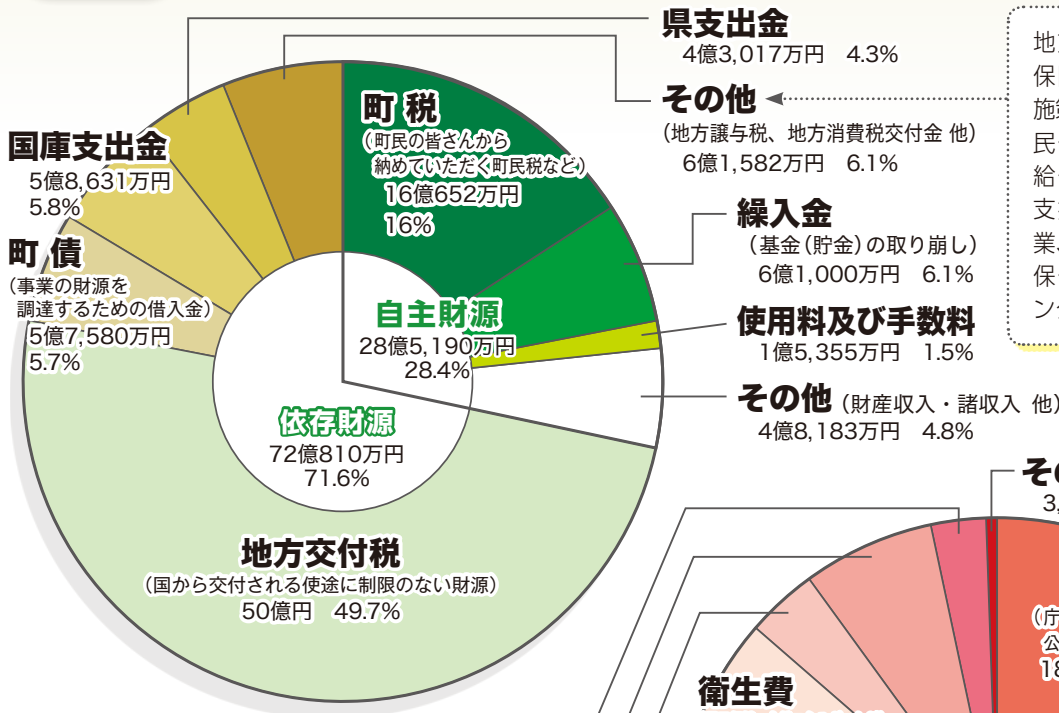
令和8年度予算は、「ハード事業からソフト事業への転換」をテーマに御嶽山麓の持続可能な地域づくりのための施策・中山道を基軸とした街道沿いの景観形成（魅力向上）やまちづくり活性化に向けた施策・小中学校の給食費完全無償化など子育て支援の拡充事業を実施します。

- 一般会計当初予算額 100億6,000万円
(令和7年度当初予算との比較 8億2,000万円 7.5%減)
- 特別会計の予算総額 10億6,249万円 (国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)
- 企業会計の予算総額 24億2,025万円 (水道事業会計・下水道事業会計・簡易水道事業会計)

一般会計歳入・歳出 100億6,000万円

歳入

※自主財源…町税等の町が自ら収入できるお金(町税・使用料・財産収入等)
※依存財源…国・県等から交付されるお金(交付税・交付金・補助金等)



県支出金

4億3,017万円 4.3%

その他

(地方譲与税、地方消費税交付金 他)
6億1,582万円 6.1%

繰入金

(基金(貯金)の取り崩し)
6億1,000万円 6.1%

使用料及び手数料

1億5,355万円 1.5%

その他

(財産収入・諸収入 他)
4億8,183万円 4.8%

地方消費税交付金の社会保障財源分は、社会保障施策の一般財源として、国民健康保険費、福祉医療給付事業、障がい者自立支援等事業、在宅福祉事業、予防対策事業、母子保健事業、こども家庭センター事業へ充当します。

歳出

消防費

(消防団運営、防災対策、御嶽山火山防災など)
3億377万円 3%

商工費

(商工業、観光施設、スキー場など)
6億5,366万円 6.5%

農林水産業費

(特産品、森林整備、有害鳥獣対策、地籍調査など)
3億5,818万円 3.6%

衛生費

(母子保健、自然エネルギーなど)
9億2,141万円 9.2%

教育費

(学校教育、図書館管理、体育施設改修など)
9億656万円 9%

土木費

(道路・橋の整備、除雪、住宅管理など)
9億4,412万円 9.4%

民生費

(高齢者・障がい者福祉、認定こども園など)
17億7,332万円 17.6%

その他

(労働費、災害復旧費、予備費)
3,531万円 0.3%

総務費

(庁舎管理、情報設備、支所費、公共交通、木工木育、選挙など)
18億8,736万円 18.8%

議会費

(議会運営)
7,297万円 0.7%

公債費

(借金の返済)
22億334万円 21.9%

令和8年度に推進する6つの政策

持続可能なまちづくりへの政策の実施や支援・子育て教育支援の拡充・町の情報発信強化などを展開し、その内容と成果を地域住民の皆さまに見える化する政策を実現します。

1 情報発信強化と業務効率化に向けてデジタル技術を最大限に活用

事業内容 | 町の実施する様々な取り組みを情報発信するため『#木曾ひろめ隊』を創設します。『#木曾ひろめ隊』は部局を越えて組織し、地域情報や町事業データ収集を積極的に行いながら情報発信の強化を行い、関係人口の増加を図ります。

事業予算 | 510万円

2 中山道の魅力創出を積極的に実施

事業内容 | 中山道沿いの景観形成整備の実施や、来訪者目線のサイン看板などの整備に向けた事業に取り組みます。また、にぎわい創出につなげるため、街道沿いで起業を希望する方へのお試し店舗の斡旋や助成事業を行います。

事業予算 | 866万円

3 御嶽山麓の持続可能なまちづくり支援と御嶽山ブランドの更なる強化

事業内容 | 高齢化が進む地域の利便性向上と買い物支援対策のための移動販売車両を購入し、モデル事業として買い物支援移動販売事業を実施します。御嶽山国定公園化に向け機運を高める記念事業を、長野県、王滝村と共同で開催します。

事業予算 | 610万円

4 地域遺産の木曾馬の保存を官民等連携事業で取り組む

事業内容 | 希少な在来馬である木曾馬の保存活動を、JRA特別振興資金事業の支援を受けて実施します。この事業を基軸に木曾馬の里の整備や木曾馬の保存、さらには今後の開田高原全体の活性に向けた政策に発展させます。

事業予算 | 6,020万円

5 小中学校給食費の完全無償化・デジタルを活用した学習支援教材の導入

事業内容 | 子育て施策の拡充として、小中学校の給食費完全無償化と小中学校に1人1台タブレット端末を更新導入したことに伴い、探究心向上も目標とした学習支援教材を導入します。

事業予算 | 6,299万円 (小中学校給食経費 6,279万円・学習支援教材導入費 20万円)

6 木の産業づくりの完了と雇用の創出

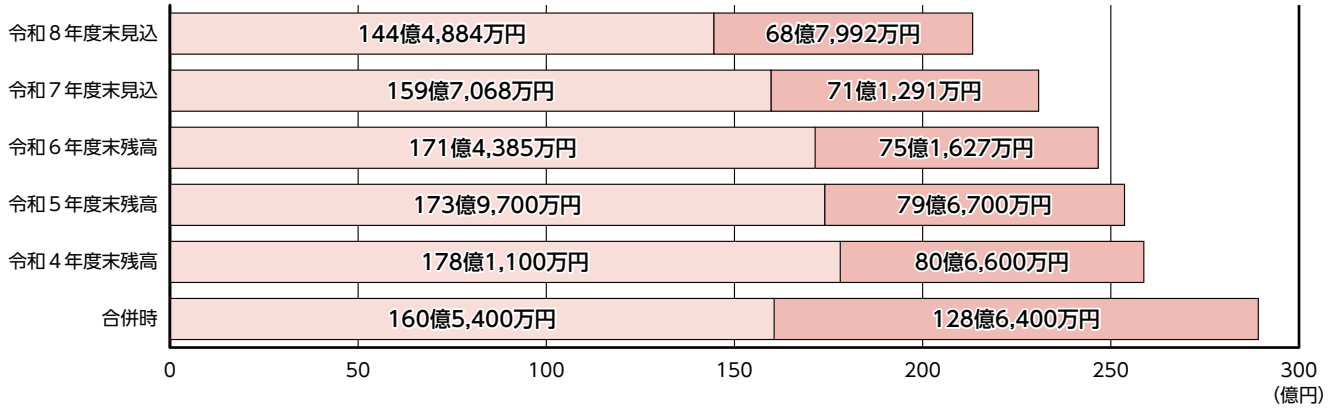
事業内容 | 令和8年度で3年目を迎える木の産業づくり事業の最終年として、木材ストックヤードの整地・事務所等の設置・木材管理に必要な備品の購入等を行います。町内を中心に伐り出された木材を集積し、用途に応じて出荷される拠点として活用します。木の産業の再生と雇用創出に向けた効果が期待されます。

事業予算 | 7,020万円

町債(借金) 残高見込額

一般会計
企業会計

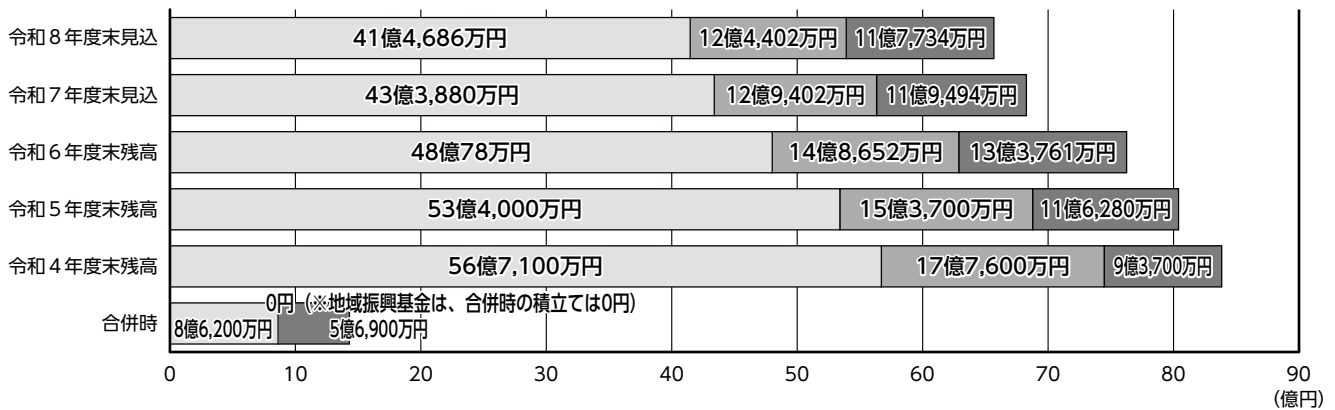
繰上償還や建設事業の減少に伴い、町債残高は減少しています。



基金(貯金) 残高見込額

財政調整基金(減債基金含)
地域振興基金
その他特目基金

財政調整基金を財源調整や多様な行政需要に対応するため、毎年度、繰入を行っていきますので、基金残高は減少する見込みです。



特別会計・企業会計予算

会計名	令和8年度予算額	一般会計からの繰入額	概要
国民健康保険	8億 420万円	5,020万円	国保税率について、今後県内での統一が目指され、それに先立ち令和9年度には木曾圏域での統一が見込まれることから、被保険者の負担軽減を考慮して段階的に改定していくこととし、令和8年度も国保税率の増額改定を行います。また、国により令和8年度から導入される「子ども・子育て支援金制度」が開始され、国保税に上乗せする形で支援金の徴収が始まります。 被保険者は前年度同様に後期高齢者医療制度への移行等により減少が見込まれ、療養諸費等は減少傾向にあります。
後期高齢者医療	2億5,829万円	6,097万円	長野県後期高齢者医療保険制度の保険料は2年を通じて財政の均衡を保つものとされており、第10期中の令和8年度の基礎賦課額は、所得割率8.80%、均等割額48,827円、賦課限度額は85万円となります。また、国により令和8年度から導入される「子ども・子育て支援金制度」の開始により、新たに子ども・子育て支援納付金賦課額が、所得割率0.25%、均等割額1,339円、保険料賦課限度額は21,000円となり、保険料に上乗せする形で支援金の徴収が始まります。 被保険者の増加等により、保険料の納付金は増加傾向にあります。
特別会計合計	10億6,249万円	1億1,117万円	
水道事業	収益 1億6,879万円 資本 1億8,457万円	680万円 0円	○建設改良費の主な事業 幸沢川浄水場非常用発電機設置工事、スマートメーター購入及びメーター交換工事
下水道事業	収益 7億2,859万円 資本 6億2,561万円	1億5,534万円 1億9,966万円	○建設改良費の主な事業 社会資本整備交付金(国庫補助金)を活用した木曾福島・日義浄化センター改築工事等、農村整備事業(国庫補助金)を活用した西野処理場機能強化工事
簡易水道事業	収益 3億7,107万円 資本 3億4,162万円	1億2,620万円 4,180万円	○建設改良費の主な事業 南宇山配水管更新工事、上村配水管新設工事、旭ヶ丘配水管布設工事、三岳中央監視システム構築工事
企業会計合計	24億2,025万円	5億2,980万円	

※一般会計以外の会計

特別会計 … 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

企業会計 … 水道事業や下水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計



皆さんにとって身近な水道。蛇口をひねれば当たり前に見える水道について、料金・給水施設・運営等、シリーズでわかりやすく解説します。

木曾町の水源である「湧水（井戸水）」と「表流水」を安全な水道水に変えるため、それぞれの水道施設で、水源の性質に合わせた浄水を行っています。今回は木曾町で実際に行っている浄水方法についてご紹介します。

① 木曾町で行っている4つの浄水方法

1 膜ろ過方式（表流水）

表流水（河川水）には、細菌やウイルスなどが含まれています。表流水を使用している幸沢川^{こうざわがわ}浄水場では、皆さまのご家庭にいつでも安全でおいしい水をお届けするため、「膜ろ過」という最新の浄水技術を取り入れています。

この「膜ろ過」とは、ストロー状の筒に目に見えないほど小さな穴（髪の毛の太さの数百分の1以下）が無数に開いています。川の水をこの筒に通すことで、目に見える汚れはもちろん、従来の浄化方法では取り除きにくかった小さな細菌やウイルスまで、物理的にシャットアウトできます。



2 急速ろ過方式（表流水）

日本で最も多く使われている浄水方式です。

川の水には目に見えない小さな汚れが混じっています。そこに特殊な薬（凝集剤）を入れると、汚れ同士がくっついて、重たい「汚れの固まり（フロック）」になります。

重くなった汚れの固まりは、沈殿池の底に沈んでいきます。こうして、まずは上のきれいな水だけを取り出します。

最後に、厚い砂の層に水を通します。沈殿池で取りきれなかった細かい汚れまで、砂がしっかりキャッチします。これが「ろ過」です。

3 緩速ろ過方式（表流水）

大きな池の底に敷き詰められた「砂の層」に、川の水をゆっくり流します。

砂の表面には、目に見えない小さな「お掃除微生物（生物膜）」が住んでいます。この微生物たちが、水の中の汚れや細菌を食べて分解してくれます。

1日に4～5メートルという、歩くよりもずっと遅いスピードで時間をかけてろ過することで、不純物をしっかり取り除きます。

メリットとして、微生物が汚れを除去してくれるので、浄水の過程で使う薬品（凝集剤など）を最小限に抑えられます。

4 その他（湧水）

湧水（地下水）には細菌やウイルスなどがあまり含まれていませんが、水道法により、湧水の場合でも最低限塩素消毒することが義務づけられています。しかし、塩素消毒のみでは死滅しない細菌もいます。そのため、「紫外線」を照射することで水の中の菌やウイルスを死滅させています。紫外線は「光」を当てるだけなので、薬を追加するわけではありません。そのため、水の美味しさはそのままに、安全性だけを高めることができます。

次号は、閉開栓の電子申請についてお伝えします。

行政懇談会を開催しました



2月17日から3月3日にかけて、町内4か所で行政懇談会を開催しました。懇談会は、木曾町まちづくり条例の理念である「開かれた町政」を推進するために開催しています。今回は209名にご参加いただき、日頃の町政に対するご意見やご要望をいただきました。

町からは、財政シミュレーションと各戸配布物の回数の変更について報告を行いました。町民の皆さまからいただいた主なご意見やご要望と、それに対する町の考えを抜粋してご報告します。

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-4280

要：要望 問：質問 答：町からの回答など

町全体に関する内容

各戸配布物の回数の変更について

要 2月、3月で試験的に月1回の配布となり、配るのは楽になったが、1度の配布物の量が多く仕分けるのが大変だった。より業務負担が減るよう検討してもらえると嬉しい。

答 ただ情報をむやみに出すのではなく「どう読んでもらえるか、受け止めてもらえるか」を念頭に置き、情報が届かないということは決して無いようにしながら、今後も様々な広報媒体を活用しつつ検討を行っていきたい。

公民館の組織体制について

問 財政が段々と厳しくなっているということは、各4地域の公民館の運営も厳しくなっているのでは。町として公民館の位置づけや今後の方向性などがあれば教えてほしい。

答 現在、令和9年度に木曾福島公民館を中央公民館、他の3地域の公民館を地区公民館とするよう準備を進めている。令和8年度は子ども向け講座を4公民館で一本化、高齢者向け講座も各地区で開催しながら、町全体でも数回開催することで調整している。職員体制についても、地区公民館の館長を非常勤、教育事務所職員（公民館主事）は支所職員と兼務とするような体制を検討中である。ただ、専任でなくなることで、分館行事においても様々な支障が出るのが考えられるため、8年度中には新たな体制作りや、各地域協議会にも協力を図るなどして、地域の公民館活動を推進していく必要がある。活動を縮小するのではなく、「各地域で人が集まらず行事が実施できない」などの課題に向き合い、各公民館の機能も維持しながらあり方を考えていきたい。

日義地区に関する内容

らっぽしよ行列の文化財保護について

問 後継者と地域の協力者の不足、また資金不足にも直面している。らっぽしよ行列は町無形民俗文化財、また木曾の伝承文化として日本遺産にも登録されているもの。伝統文化の維持・継承を継続して行っていきたいが、来年度は補助金が減額すること。今後も補助金が現状維持になるのか、それとも増額になるのか教えてほしい。

答 現在、らっぽしよ行列の補助金は「町指定文化財保護事業補助金」から支出している。8年度の補助金額は、町の要綱において「対象事業経費の2分の1」と定まっており、提出していただいたらっぽしよ保存会の決算書を確認し、補助対象となる経費を元に算定させていただいている。今後は様々な事情等を考慮し、予算内での補助額を算定して内示する方針。重要な地域イベントでもある観点から、地域自治協議会とも予算的なものも含めて協議を積み重ねてほしい。

開田地区に関する内容

木曾馬の里の整備について

問 地権者として、今後の整備状況を教えてほしい。

答 全国的にも貴重な地域資源である木曾馬を安定的に保存するには、木曾郡内で100頭、木曾馬の里で75頭を飼養することが必要とされていることから、その頭数に増やすことを目標に、木曾馬の里リニューアルを含めた検討がされてきた。

当初計画では、再整備計画に係る事業費が課題となっていたため、関係団体と協議を重ね、JRA特別振興資金事業の支援金（6千万）を活用し、令和8・9年度の2年間で再整備する計画（総事業費1億2千万）と

なっている。
再整備により、交流人口の増加や周辺施設を含めた町、地域への経済効果が期待される。

鳥獣対策について

要 トウモロコシがかなりの勢いで猿の被害に遭っており、高齢者の中には来年の作付けに意欲を失っている人もいる。作った作物が消費者に行き渡らないことが残念。財政的に厳しいかと思うが、今後も鳥獣対策に対応していただきたい。

答 開田地区に限らず、町内全域で有害鳥獣による農作物への被害が多発し、生産者の意欲低下に繋がっている現状である。開田地区には現在、小西と柳又たに一基ずつ遠隔操作の大型檻を設置しており、今年度捕獲した45頭の内19頭はこの檻で捕獲した。来年度は髭沢地区からも設置要望があったため、その予算を計上している。

三岳地区に関する内容

三岳 道の駅の改修について

問 みたけグルメ工房から道の駅までのアーケードが無く、雨や雪の日に道の駅に弁当を搬入

する際、弁当を濡れたまま搬入している現状である。それを改善することに加えて「アーケードを作るのなら、御嶽山ビジターセンターさとテラスから道の駅まで一続きにすることで、より利便性が向上するのでは」ということで町へ提案をした。しかし、その改修によって売り上げがどこまで上がるかを言及され試算が止まっており、改修の話にも踏み出せない状況。どうすればよいのか。

答 改修にかかる見積もりが当初のものから金額が大幅にあがったことを聞き、支所の職員に「金額の増額の理由などについて、もう一度地元の方と内容を見直してほしい」と話をした。今回搬入のしづらさについては初めて知る部分だったのでそこは加味したい。道の駅の修繕について、他の道の駅では「自分たちでここまで出すからこの部分をこういう風に改修してほしい」と提案を受けることもある。そうしてもらおうと、町として補助金の説明や改修の優先順位づけもしやすくなり、町としても応援しやすくなる。今すぐの修繕としての協力は難しくても、例えば売り上げを伸ばすために屋外販売などを行う際のテントの貸出しなどで協力できる部分はあると思うので、そこも含めて今後も町に相談してほしい。

木曾福島地区の皆さんの声

今回木曾福島地区では、行政懇談会から「地域づくり懇談会」に名前を改め、6つのテーマに分かれて初めてのグループディスカッションを行いました。

① 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

- ▶ 地域に住む人同士のつながりを絶やさないことが大切。スマートフォンを利用したつながりづくりができないだろうか。
- ▶ 買い物などの日常生活の移動にも苦労している。ネット通販の活用支援や、移動する際に支援してくれる人がいるのはどうか。

② 豊かな自然と歴史文化の子育て

- ▶ コロナをきっかけに地域行事が減ったこと、また人不足であることで、もう一度始めることが難しくなっている。今ある行事を残していくことが大切なのは。
- ▶ 子どもたちの居場所づくり、またそれを通じていろいろな世代の方とのつながりづくりをすることも大事なこと。

③ 災害に強いまちづくり

- ▶ 地域全体で高齢化が進んでいるためお互いを支え合うことができない。
- ▶ 実際に災害が起きると、消防団員が現場に行ってしまう地域からいなくなるため不安。
- ▶ 災害が起きたときに公民館や電気、電話などが活用できるのか見直しが大事。

④ 観光と木曾とブランド力

- ▶ 「木曾のブランドとは？」と聞かれてもよく分からない。
- ▶ 「日本遺産」として認定されたにもかかわらず目立った活動が無い。もっと活用するべきではないのか。
- ▶ 看板を多言語化したり、SNSを利用して様々な角度から発信したりすると旅行者も増えるのでは。

⑤ 林業と循環型地域経済

- ▶ 町で進めている「循環型地域経済」の内容を詳しく知りたい。
- ▶ 山で作業するのに機械化は欠かせない。林道の整備もしてほしい。
- ▶ 林業大学校などを卒業しても町外に出て行ってしまい、人手不足の問題がある。
- ▶ 今後のカラマツの利用に期待したい。

⑥ インバウンドと情報発信

- ▶ 海外の方はSNSなどで情報を入手してから来ている。良いところをなるべくリアルタイムで、多言語で発信できると良いのでは。
- ▶ 歩かないと分からない町の魅力がたくさんある。町全体で海外の方とコミュニケーションをとれるようになって一緒に歩くことができれば、魅力発信につながると思う。

\\ まちの話題 //

「鳥の巣箱作りと冬鳥の観察会」を開催しました

2月28日、きそネイチャーマイスター養成講座「鳥の巣箱作りと冬鳥の観察会」を開催しました。講師に日本鳥学会会員の^{おおはら ひとし}大原 均さんをお迎えし、巣箱を作る意味や重要性、鳥の生態や大きさによって作る巣箱も異なることなどを教えていただきながら巣箱作りがスタートしました。ときには隣の人と助け合いながらパーツの切り出しや組み立て作業を進めていくと、同じ作り方ではあるものの、それぞれの味が出た巣箱が完成しました。参加した皆さんの「こころうまうまかかったな」と感想をこぼす声に、大原さんは「うまくできた、できないは鳥が評価する。鳥が入ってくれたら“うまくできたんだ”って思えばいいよ」とお話ししていました。



\\ まちの話題 //

令和7年度「60代の集い」を開催しました

3月1日、三岳交流促進センターにおいて「60代の集い」が開催されました。「三岳地域に縁のある60代の方はどなたでも」という誘いの下約40名が参加をし、アルパやスコップ三味線の演奏、和泉家志ん治師匠による落語を楽しんだ後、交流の部として各チームに分かれ、モルックと、ハエたたきを使ったカルタ取りで熱い戦いを繰り広げました。

談笑と笑顔の絶えない、和やかな集いとなりました。



スコップ三味線は体験もありました



\\ まちの話題 //

エコキャップの寄付をいただきました

3月3日、木曾こども園の年長児の皆さんが、エコキャップ運動として1年間集めたペットボトルキャップを寄付してくださいました。エコキャップ運動とは、ペットボトルキャップを別の製品へリサイクルし、その製品を販売した利益を、発展途上国の子どもたちへのワクチン代として寄付する運動です。

町職員から「リサイクルすると、マンホールのフタやハンガーなどになるんだよ」という話を聞くと、興味津々で「どうやってそれになるの?」と質問をしてくれる場面もありました。





町長コラム 如是我聞



「昭和は遠く」

「降る雪や明治は遠くなりけり」

中村草田男なかむらくさた おのこの有名な句は、昭和に入ってから詠まれたそうです。

明治という大きな時代を見送るには、大正という時代を挟んで、一息を入れる必要があったのかもしれませんが。そして、私たちは今、令和・平成の向こう側に、昭和をゆっくりと見定めることができます。

数年前、子どもの頃に住んでいた古い家を壊すことになり、家財を整理しました。半ば倉庫のようになっていた家の中には、明治時代から現代までの品々（ほとんどガラクタ）が詰まっていました。それでも、「残すもの」と「捨てるもの」に仕分け、ふと面白いことに気づきました。「捨てるもの」の山は、ほとんど私が生まれた昭和30年代、40年代の、いわゆる高度成長期の品だったのです。

激動の昭和は戦争を経て、大きく価値観の変わった時代でもありました。物不足から大量生

産・大量消費の時代へと変わり、あらゆる品が一気に世にあふれました。人口は増え続け、未来はまぶしく輝いて見えました。消費は放っておいても拡大し、作っては売り、売っては捨てられ、少しデザインを変えれば新しい需要が生まれる——「消費は美德」、そんな時代でした。

昭和生まれの男は、夢の残り香のような「昭和の山」を見返して、しばらくの間追憶に沈んでいました。

人は生まれ落ちる時代を選ぶことはできません。もし時代に性格のようなものがあるとすれば、昭和は間違いなく、隙だらけで、チープで、喜怒哀楽に満ちた、どこか憎めない時代でした。そして、自分自身もまた、おおらかで感情豊かな時代に育ててもらい今があるはずで、それに比べたら、現代は少しぶん息苦しい時代なのかもしれません。

帰りがけに、「昭和の山」から小さなプラスチックのおもちゃをひとつ、ポケットにしのばせました。——昭和は、少し遠くなったようです。

4月29日は昭和の日です。

Information

お知らせ

庁舎案内窓口を開設しました

3月2日、役場に来庁される皆さんが迷うことなくご希望の手続きが行えるよう、役場本庁舎の待合の間に「庁舎案内窓口」を開設しました。お困りの際は案内窓口の職員にお声がけください。

もちろん、他の職員にお声がけいただいても、担当の窓口をご案内します。お気軽にお声がけください。



5月

町内スケジュール

5月は、
固定資産税1期、軽自動車税の納付月です。
忘れずお早めに納付ください。



主なイベント ¥：参加費用が必要です

日付	時間	内容	場所
10日(日)	9:30~11:30	公民館こども講座「軽スポーツ」	日義公民館
13日(水)	13:30~16:30	公民館シニア講座「シネマ&サロン」 ¥	文化交流センター

相談情報

各種相談 ※法律相談には予約が必要です。

- 期 日：5月20日(水)
- 時 間：13:00~16:00
- 会 場：三岳 交流促進センター
- 相談内容：・法律相談 ・心配ごと相談
・行政相談 ・人権相談

【予約・お問い合わせ先】
木曾町社会福祉協議会 ☎26-1116

年金相談 ※相談には予約が必要です。

- 期 日：5月14日(木)
- 時 間：10:00~12:00
13:00~15:00
- 会 場：木曾町役場 会議棟

【お問い合わせ先】
松本年金事務所 お客様相談室 ☎0263-25-8100
自動音声案内「1」の次に「2」を選択してください。

+ 緊急当番医連絡先

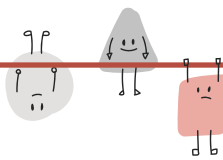
3日(日)	王滝村診療所 (王滝村) ☎48-2731
4日(月)	原内科医院 (福島) ☎22-2678
5日(火)	芦沢医院 (上松町) ☎52-2018
6日(水)	古根医院 (大桑村) ☎55-1188
10日(日)	田澤医院 (開田高原) ☎44-2008
17日(日)	大脇医院 (上松町) ☎52-2023
24日(日)	みたけ診療所 (三岳) ☎46-2266
31日(日)	奥原医院 (木祖村) ☎36-2264

+ 緊急当番歯科医連絡先

4月	
26日(日)	開田高原歯科診療所 (開田高原) ☎42-3200
5月	
3日(日)	鈴木歯科医院 (福島) ☎22-2038
5日(火)	あすなる歯科医院 (福島) ☎22-2221
10日(日)	ゆうあい歯科医院 (日義) ☎26-2442
24日(日)	古谷歯科医院 (大桑村) ☎55-2760

※掲載している日時や会場などの情報は変更、中止になる可能性があります。
急な変更、中止の際は定時放送やホームページでお知らせします。





※急な変更、中止の際は定時放送や母子手帳アプリ「母子モ」でお知らせします。

各種検診・健診スケジュール

検診名	対象者	福島	日義	開田	三岳
健康診断	特定健診	40～74歳の町国民健康保険加入者			
	節目健診	令和8年度末で満40歳・50歳の方			
	さわやか健診	20～39歳の方			
	健康長寿健診	75歳以上の方	14日(木) 15日(金)	13日(水)	18日(月)
	前立腺がん検診	50歳以上の男性			
	肝炎ウイルス検査	40歳以上でこの検査の未受検者			
	骨密度検診	20～74歳の方			
	大腸がん検診	35歳以上の方			
検乳がん	超音波検診	30～39歳の女性、 41～69歳の奇数年齢の女性、 71～79歳の女性	7日(木) 12日(火)	14日(木)	8日(金)
	マンモグラフィー検診	40～70歳の偶数年齢の女性	7日(木) 8日(金) (午前)	14日(木)	8日(金) (午後)
検子宮頸がん	細胞診	20～79歳の女性	13日(水) 29日(金)	20日(水)	
	HPV検査	30、35、40、45、50歳の 細胞診検診当日に希望した女性			

子育て支援センターでのひら
《広場開催時間 10:00～11:00》

広場(対象)	期日	内容
ベビーの広場 (3ヶ月～12ヶ月)	26日(火)	ふれあい遊び・子育て談話
でのひらばーく (1歳になったお子さん～ R6.4.1生まれのお子さん)	13日(水)	ふれあい遊び
	19日(火)	おでかけさんぽ
	28日(木)	ふれあい遊び

【お問い合わせ先】

子育て支援センターでのひら (木曾こども園併設) ☎22-3301

あそびのひろば〈親子で自由に遊べる場〉

- 場所** 木曾町福島5764番地5 保健センター1階
- 対象者** 0歳から5歳児(未就学児)までのお子さんと保護者
- 利用日時** 月曜日から金曜日まで(祝日・年末年始を除く)
9:00～12:00/13:00～15:30
*食事スペース 9:00～15:30
*4月から利用時間が変更になっています

【お問い合わせ先】 ☎22-2232

※詳細は母子モでご確認ください。

介護保険制度、認知症、介護予防、成年後見制度など高齢者に関するご相談は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター(保健福祉課内)
受付時間 平日8:30～17:15 ☎22-4038

乳幼児健診

健診	期日	会場
離乳食教室	20日(水)	本庁はぐくみひろば
3ヶ月児教室	21日(木)	本庁はぐくみひろば
お誕生日教室1歳	25日(月)	木曾福島保健センター
4ヶ月児健診	27日(水)	上松町 健康増進センター
10ヶ月児健診		
1歳6ヶ月児健診		
3歳児健診		

【お問い合わせ先】 保健福祉課 ☎22-4035

※会場が変更になる場合があります。
詳細は、個別通知をご覧ください。

いきいき運動教室

65歳以上の方を対象に、筋力アップ、ストレッチ体操等を行います。人生100年時代を生き抜くには、健康な身体づくりが大切です。ご近所お誘い合わせでご参加ください。

【参加費】 200円
300円(通うのに支援が必要な方)

【持ち物】 タオル・飲み物
上履き
(開田高原末川研修センター・総合トレーニングセンター)

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター ☎22-4038

期日	会場	時間
7日(木)	木曾町文化交流センター	13:30 から 約1時間
14日(木)	総合トレーニングセンター	
21日(木)	開田高原末川研修センター	
28日(木)	三岳交流促進センター	

食育

毎月19日は
食育の日

『知っている』から 『実践している』へ

食育の日の前後の一週間、
役場本庁舎にて食育展示を行っています。
ぜひご覧ください。



ぼくの
大好物

つちや ゆいと
土屋 結斗くん (新開)

食育リレーコラム

Vol.118 | 安達 聖良 さんからのリレー

食育

きしよくまんめん

満面

『初めての餃子作り』 かみがいと りえ 上垣外 理恵さん (日義地区)

我家は6歳と4歳の娘がいます。最近は2人ともお手伝いをよくしてくれます。

長女は野菜が苦手です。食べられるものが限られています。なので、ハンバーグや餃子、オムライス、カレーなど野菜を小さく切ってわからないように入れることができるメニューをよく作っています。普段はニラや白菜、キャベツは全く食べない長女ですが、餃子は好きなので、包むのをやってみようと2人に言うと、意欲的にやってくれました。

普通の餃子のほかに帽子の形や次女は机と椅子の形も作りました。やっていると餃子の皮が足りなくなり、やる気に溢れている2人は「おつかいたい！」と近所のお店へ買いに行くことにしました。お店の前まで見送り、お金を渡して買ってきてもらいました。次女がお店

の人に餃子の皮をくださいと聞いたそうで、ニコニコで帰ってきました。その後たくさんの餃子を作り、色々な形の餃子を何個も食べていました。

これからも色々な食材を食べるように工夫し、楽しく食事できるようにしていきたいと思っています。



◎野菜を食べて欲しいというお母さんの思いから、料理のお手伝いやおつかいの経験に繋がり、更に様々な「できた！」に広がったとても素敵なお話ですね！これからも楽しい食事をたくさん積み重ねて欲しいと思います。



食に関するアレコレを発信!! 日々の“食”にちょっと目を向けて食の話題で食卓を彩ろう♪

合言葉は【さあにぎやかにいただく】! フレイルを予防で健康長寿

フレイルとは、加齢に伴って筋力や認知機能など心身の機能が徐々に低下し、健康と要介護状態の間にある状態をいいます。要介護状態になってしまうと回復するのが難しいですが、フレイル状態のうち健康状態に戻すことができます。今回は町保健師や管理栄養士がフレイル予防教室等でお伝えしている食生活のポイントをご紹介します。

フレイル予防のための食生活のポイント

1日3食食べて、バランスよく栄養をとることが大切です。高齢期は肥満よりも「やせ(低栄養)」が問題となりやすく、木曽町でもその割合が男女ともに増加しています。

65～74歳のBMI20(やせ)の割合… R3年度:男性 10.2% 女性 23.6% → R6年度:男性 10.8% 女性 26.7%

【さあにぎやかにいただく】は下記の10種類の食品の頭文字を取ったもので、これらの食品を毎日食べるとフレイルになりにくいとされています。主食にプラスして1日7種類以上を目標に、できるだけ多くの食品を摂ることで栄養バランスが整っていきます。また高齢期は筋肉などを作るたんぱく質が不足しがちですので、1日3食たんぱく源となる食品(赤字のもの)を入れるようにしましょう。

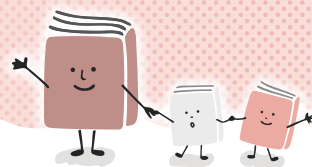
㊦魚 ㊧油 ㊨肉 ㊩牛乳(乳製品) ㊪野菜(緑黄色野菜) ㊫海藻 に ㊬いも類 ㊭卵 ㊮大豆製品 ㊯果物

フレイル予防には食事の他に運動と社会参加も大切です。「今より1日10分多く体を動かす」「地区のサロンや介護予防教室等に出かける」など、できることから始めて健康長寿を目指しましょう!

きそまち 図書館だより

Vol.
118

穏やかなよい季節になりましたね



「木曾馬とともに」展示会のお知らせ

期 間 4月25日(土)～5月25日(月)

場 所 木曾町図書館 フリースペース

木曾馬は古来より木曾の人々とともにあり、その時代に応じた役割を担い、歴史を作ってきました。今回は、木曾福島の「馬市」の写真や町内各地の馬頭観音石仏などの写真、木曾馬ブロンズ像（石井鶴三作、木曾教育会 蔵）、および木曾馬関連書籍などを展示します。



写真は昨年のものです

としよカフェコンサートのお知らせ

まちとしよで聴こう。木曾福島公民館文化サークルのcolors ～カラズ～さんによるコンサートを開催します。クラリネット、キーボード、木琴、鉄琴などの演奏です。

日 時 5月2日(土) 13:30～

場 所 木曾町図書館 としよカフェ

演奏曲目 「ミッキーマウスマーチ」、「ビビディ・バビディ・ブー」、「麦の唄」他

今年は1回のみでの演奏となりますので、お聴き逃しのないようぜひお越しください！

4月・5月のおはなし会

4月18日(土)

10:50～11:10

「なぞとき・すいり」というテーマで、絵本専門士によるおはなし会を行います。

5月2日(土)

11:00～11:15

ボランティア「4ピース+」さんによるおはなし会を行います。

5月16日(土)

11:00～11:15

「おいしいおはなし」というテーマで、スタッフによるおはなし会を行います。

開館カレンダー

▶開館時間 / 平日 10:00～18:00

土日・祝日 10:00～17:00

▶休館日 / 毎週火曜日（祝日の場合は開館）

・祝日の翌日（平日） ・毎月最終木曜日

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※□：休館日です

●4月29日(水)、5月3日(日)～5月6日(水)は、祝日開館します。

●5月7日(木)は振替休館となります。

図書館へのお問い合わせ

木曾町図書館

〒397-0001 木曾町福島5129（文化交流センター内）

TEL 23-2030 FAX 24-0082

木曾町内中学校 部活動の地域展開

～ こどもの笑顔から おとな・地域の笑顔へ ～



令和8年4月1日から中学校部活動を
「木曾町ジュニアスポーツ・カルチャークラブ」に展開します！



【お問い合わせ先】生涯学習課 ☎23-2070

❓ 「中学校部活動の地域展開」とは

現在、全国的に急激な少子化の進展や学校における働き方改革の必要性の高まりにより、子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に携わることが難しくなっています。その活動に親しむ機会を今後も継続して確保・充実させるためには、地域の実情などに応じて地域資源を最大限活用しながら、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現することが重要です。

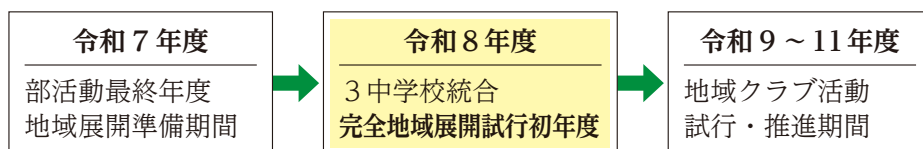
そのために国・県がガイドラインを示し、木曾町だけではなく、全国で「中学校部活動の地域展開」の取り組みを進めています。木曾町では、地域展開を行うことで、学校をはじめ地域の様々な関係者が連携・協働し、子どもたちにとってより良いスポーツ・文化芸術環境を未来へ繋ぐことを目指しています。

中学校部活動が直面している危機を、スポーツ・文化芸術環境を進化させる好機に変えるため、ぜひ地域の皆さまのご協力をお願いします。

木曾町内中学校部活動地域移行（展開）推進計画

(令和7年3月策定)

- 基本目標 ～こどもの笑顔から おとな・地域の笑顔へ～
- 基本方針 スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備
 - ・木曾町ジュニアスポーツ・カルチャークラブによる活動の推進
 - ・適正な活動の構築「クラブ活動の方針」
 - ・町による活動環境の整備（活動場所の確保・運営交付金・指導者支援等）
 - ・保護者のご協力の継続（保護者会・生徒の送迎や一定の会費負担等）
- 計画期間 令和7年度～令和11年度



*全てのクラブにおいて、中体連大会、吹奏楽コンクールの参加のみを目指すものでなく、クラブの実情に応じた活動を行います。



中学生期における新たなスポーツ・文化芸術活動の創造
(継続性・安定性・連続性)



中学校部活動の地域展開は、子どもたちの笑顔・地域の未来を創ります！

地域のこどもは学校を含めた地域で育てます！

木曽町ジュニアスポーツ・カルチャークラブ

木曽町ジュニアスポーツ・カルチャークラブは、「木曽町のこどもたちが、スポーツや文化芸術を楽しむとともに、技能および競技力や表現力を高め、その活動を通じて豊かな人間力を育むこと」を目的に、令和5年5月16日に旧4町村で活動していたスポーツ団体を統一し設立しました。

各クラブでは、プレーヤーズセンター*1を共通理念として、木曽町教育委員会が定めた『活動の方針』（活動基準、適切な指導の実施等）により、活動を行っています。

種目	区分	主な活動場所	活動日	主な活動内容
野球	小学生	木曽福島野球場	平日1日、休日	練習、大会参加
	中学生		平日2日	練習
スキー	小学生	福島教室 木曽福島スキー場	休日	練習、大会参加
		開田教室 信州開田高原マイアスキー場	休日	練習、大会参加
	中学生	木曽福島スキー場	休日	練習、大会参加*2
	※小中学生とも オフシーズン 平日1日 練習（木曽町中学校体育館）			
相撲	小学生	木曽町総合トレーニングセンター	平日2日、休日1日	練習、大会参加*2
	中学生		平日4日、休日1日	
剣道	小学生	木曽町中学校 武道場	平日2日、休日1日	練習、大会参加*2
	中学生			
陸上	小学生	木曽町中学校 校庭	休日1日	練習、大会参加*2
	中学生		平日3～4日、休日1日	
サッカー	小学生	福島教室 木曽町中学校 体育館	休日1日	練習（中学生参加可）、大会参加
		日義教室 日義体育館	平日1日、休日1日	
		開田教室 開田小学校 校庭	平日1日	
バレーボール	小学生	木曽町中学校 体育館	平日1日	練習
	中学生	木曽町中学校 体育館 木曽福島体育館	平日4日、休日1日	練習、大会参加*2
バスケットボール	小学生	木曽福島体育館	平日1～2日	練習、交流試合
	中学生	木曽町中学校 体育館 木曽福島体育館	平日4日、休日1日	練習、大会参加*2
ソフトテニス	中学生	木曽福島テニスコート	平日4日、休日1日	練習、大会参加*2
卓球	小中学生	木曽町総合トレーニングセンター	平日1日	練習
吹奏楽	中学生	木曽町中学校 音楽室・武道場	平日2～3日、休日1日	練習、地域での発表、コンクール参加*2

*1 プレーヤーを中心につつ、プレーヤーを支援する関係者も良好で幸福な状態を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。

*2 中体連、吹奏楽連盟 加盟予定

小学生の区分で、未就学児が参加できるクラブもあります

各クラブの詳細は『生涯学習情報誌』をご覧ください ▶▶▶



クラブ指導者を募集しています！

令和8年度から、指導者には、指導日数に応じて謝金をお支払いします。

クラブ協力者を募集しています！

こどもの見守り、事務等を募集しています。謝金はありません。



こどもに関わりたい方、興味のある方は、生涯学習課までお問い合わせください。

日義中学校 開田中学校 卒業式・閉校式

3月31日、日義中学校は明治19年からの139年間、開田中学校は昭和22年からの78年間、それぞれの長い歴史に“閉校”という幕を下ろしました。それぞれの校舎では、最後の卒業式と閉校式が挙行了されました。

3月18日
日義中学校 卒業式・閉校式



生徒代表挨拶 狩戸 強志さん

「小学校と中学校が一緒だったから、全員で喜びを分かち合うことができました。日義中学校は無くなっても、ここで過ごした日々は私たちの心の中に残っています。」 一部抜粋



3月18日
開田中学校 卒業式・閉校式



生徒代表挨拶 千村 涼太さん

「入学したばかりの時に中学校の統合が発表され、そこからは、あっという間の3年間でした。季節ごとに違う御嶽山や自然の風景に毎日癒やされました。開田中学校、長い間、ありがとうございました。」 一部抜粋



木曾町の総人口 9,561人（3月1日現在）世帯数 4,676世帯 男性 4,631人 女性 4,930人

木曾町インフォメーション 木曾町役場 本庁 22-3000 日義支所 26-2301 開田支所 42-3331 三岳支所 46-2001